

PCB を含む廃棄物の焼却実証試験の実施について 環境省



環境省は、関係自治体の協力を得て、PCB を含む廃棄物の焼却実証試験を実施することを発表しました。

PCB を使用していないと思われていたトランス等の中に、実際には微量の PCB が混入した絶縁油を含むものが大量に存在することが判明しており、環境省はこれらの処理体制の整備に向け、現在稼働中の産業廃棄物処理施設等において微量 PCB 汚染廃電気機器等が安全かつ確実に処理できることを確認してきました。

その内容については、以下の通りです。

<概要>

- 実施場所:三光株式会社(鳥取県境港市)
- 実施期間:平成 24 年 10 月 16 日(火)~10 月 18 日(木)
- 実施内容:三光株式会社において、PCB を含む有機顔料、防護具等及び廃アルカリ、並びに絶縁油、コンデンサ及び抜油後の変圧器を焼却し、処理後のコンデンサ、変圧器、燃え殻、ばいじん、排ガス及び周辺大気等の PCB 濃度等を分析することで、周辺環境に影響を及ぼすことなく安全かつ確実に処理されていることを確認。本試験では燃焼ガスを 850℃以上に保ちつつ、2秒以上滞留させて実施。

なお、実施に当たっては、廃棄物処理、分析、健康影響等に関する専門家の助言を得ることとしています。

当社では、絶縁油中の PCB 分析について多くのお客様からご依頼を頂き、多検体、短納期の体制で行っておりますので、是非お任せ下さい。

資料 2012 年 10 月 12 日付 環境省報道発表資料

衛生技術箇所 五月女欣央

